

Tableau Cloud 手動移行ガイド

最終更新 2024/12/05

© 2024 Salesforce, Inc.



内容

Tableau Cloud 手動移行ガイド	iv
移行が理にかなっている理由	iv
より深く掘り下げる	v
移行が理にかなわない場合	v
本ガイドの対象読者	vi
移行後	vii
Tableau Cloud の機能の違い	vii
エンドユーザーが実施する必要があるタスク	vii
バージョンの互換性	viii
ライセンス発行	viii
追加サポート	viii
移行ワークフロー	viii
移行計画	ix
Tableau Cloud について	ix
Tableau Cloud のためのデータ戦略計画	ix
大掃除: お持ちのコンテンツは有益なものですか?	x
リストを作成し、データソース戦略を作成する	x
サポート済み Tableau Cloud コネクタ	xi
ユーザーアカウントと認証	xii
移行ワークフロー	xiii
Tableau Cloud サイトの作成と設定	xiv

ステップ 1: Tableau アカウント マネージャーと協力してライセンスを移行する	xiv
ステップ 2: 認証方法を指定する	xiv
ステップ 3: サイトに慣れる	xiv
ステップ 4: データ接続の設定	xv
一般に利用できるクラウドデータ	xv
オンプレミス、ローカル ファイル、プライベート クラウドデータ	xv
移行 ワークフロー	xvi
仮想接続の移行	xvii
移行 ワークフロー	xix
データ ソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行	xx
はじめる前に	xx
ステップ 1: 最小限のアクセス ポリシーでサイトのプロジェクトを作成する	xx
ステップ 2: Creator ロールを持つユーザーを追加する	xxi
ステップ 3: パブリッシュ済みデータソースを移行する	xxii
ステップ 4: 複数のパブリッシュ済みデータソースを含むワークブックを移行する	xxiii
ステップ 5: 埋め込みデータソースを含むワークブックを移行する	xxiv
ステップ 6: Tableau Prep フローの移行	xxiv
移行 ワークフロー	xxvi
Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成	xxvii
抽出データソースの新しい更新スケジュールを確立する	xxvii
Tableau Prep フローの新しい更新スケジュールの設定	xxvii
移行 ワークフロー	xxviii

移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツ アクセスの設定	xxix
コンテンツ アクセス	xxix
行レベル セキュリティ	xxix
移行 ワークフロー	xxx
Tableau Cloud への残りのユーザーの追加	xxxix
ユーザーの追加	xxxix
ユーザーを手動で追加する	xxxix
移行 ワークフロー	xxxiii
エンドユーザーの移行 チェックリスト	xxxiv
移行 ワークフロー	xxxv

Tableau Cloud 手動移行ガイド

このガイドでは、Tableau Server 展開を Tableau Cloud に手動で移行する方法について説明します。一言で言えば、このガイドは、100 人未満のユーザーで Tableau Server を運用していて、完全に手動でのセルフサービス移行プロセスに抵抗がない管理者に役立ちます。

ユーザー数が多く、データ要件がより複雑な場合は、[プロフェッショナル サービス](#)や[経験豊富な移行パートナー](#)と連携して Tableau Cloud に移行するほうが利点があるかもしれません。さらに、このトピックには、移行を計画する方法についてのガイダンスも含まれています。

ただし、その前に、なぜ Tableau Cloud への移行が組織にとって賢明な動きであるかを確認しましょう。

移行が理にかなっている理由

少人数のユーザーグループ向けに 1 台の Tableau Server を運用しているのであれば、Tableau Cloud に運用を移行すると時間と費用を確実に削減できます。Tableau Cloud へ移行することで簡単に得られるのは、私たちの多くにとって不足しがちな時間を節約することです。また、自分はデータサイエンティストやデータアナリストなのに、Tableau Server のインストールを予期せず実行していることに気付いたなら、移行して、データを扱うことに専念しましょう。

大きな組織ではどうなるでしょうか。組織のユーザー数が 100 人を超えている場合、コストと時間を大規模に節約することのメリットが間違いなく得られます。Tableau Cloud は大規模な組織に対応できるように構築されていますが、このガイドはそうではありません。大規模な組織の移行を検討している場合は、「[Tableau Cloud への移行](#)」を確認してください。ここでは、[プロフェッショナル サービス](#)や[経験豊富な移行パートナー](#)との連携について詳しく知ることができます。

多くの組織にとって、Tableau Cloud の方がより高速で信頼性が高く、Tableau Server の稼働を維持するために現在行っている煩わしさも少なくなります。サーバーのメジャーアップグレードはもちろんのこと、メンテナンス リリース アップデート(ご存知の通り、密かに行われる別の名のアップグレードのことです)さえも、もう対応する必要はありません。Tableau Cloud は、最新の機能を備えた最新リリースを常に実行しています。信頼性とパフォーマンスはサービスに組み込まれています。移行プロセスを終えると、Tableau Cloud で費やす時間は、ユーザーとデータの管理に向けることができ

Tableau Cloud 手動移行ガイド

ます。それだけです。サービス エラーのトラブルシューティングを行ったり、ログを調べたり、再起動を繰り返したりすることはありません。

アカウント マネージャーと連携して、ユーザーをサポートするためのコストを把握してください。全体的なコストを評価するときは、ユーザーごとのライセンス費用という単一のメトリックだけでは、SAAS とサーバーのセルフホスティングを同一条件で比較することはできないことに注意してください。

Tableau Server の管理に費やされる時間や、ハードウェアの更新やリースにかかる資本コストを含めない場合、この比較は特に不毛なものになります。クラウドで単一のサーバーを実行する年間コストは、年間 10,000 ドルを超える場合があります。もちろん、メンテナンス、定期的なアップデート、トラブルシューティングの人員コストも含めて分析する必要があります。

より深く掘り下げる

- Tableau Cloud への移行に関する迅速で適切な評価については、ブログ投稿「[Should I Move My Analytics to Tableau Cloud?](#)」(分析を Tableau Cloud に移行すべきか?) を参照してください。
- オンプレミスまたは独自のホスティングから Tableau Cloud に移行する利点の詳細については、GigaOm の調査記事「[CxO の意思決定の概要: SaaS ビジネス インテリジェンスのプラットフォーム](#)」を参照してください。
- 現実世界でのコスト削減とパフォーマンス向上を詳しく説明したケーススタディについては、「[Splunk の Tableau Cloud への移行により、サーバー管理者のオーバーヘッドが排除され、ダッシュボードのパフォーマンスが向上します](#)」を参照してください。

移行が理にかなわない場合

次のリストでは、移行する代わりに、Tableau Server の独自のインスタンスを管理し続けることが理にかなっているシナリオを説明します。Tableau Cloud では継続的な改善に取り組んでおり、これらのギャップに対処する新機能をリリースする際には、このリストを更新します。ただし、移行を決定する前に、Tableau Cloud が要件を満たしているかどうかを確認することが重要です。移行を進める前に、必ず要件を検証してください。

- 規制とデータの所在: ビジネスは、規制 (FedRAMP、PCI など) やデータ所在の要件に準拠する必要がある領域で運営されているが、Tableau Cloud はまだ準拠していない場合。[現在のコンプライアンスのリストを確認](#)してください。新たな認証を取得した場合のために、随時再確認してください。

- データソース: 組織が依存しているデータソリューションが、Tableau Cloud と連携できない、Tableau Bridge でサポートされていない、または自分の責任範囲では互換性のある方法で抽出できない場合。このようなデータソースの例には、キューブデータソース、カスタム コネクタ、パッケージ化された Tableau コネクタ(.taco) ファイルなどがあります。次のトピック「移行計画」では、サポートしているさまざまなデータソースと、Tableau Cloud で利用できるオプションについて説明します。無料の「[Tableau Cloud への移行に関する技術準備評価](#)」をダウンロードして、現在使用しているデータソースと、それらが Tableau Cloud でサポートされているかどうかを確認することもできます。
- サイト容量: 1 TB を超えるデータがある場合は、「[Tableau Cloud の高度な管理](#)」を参照してください。それ以外の場合は、「[Tableau Cloud サイトの容量](#)」を確認して、必要な統合を最適化します。「[Tableau Cloud への移行に関する技術準備評価](#)」は、統合が必要なアセットを特定するのに役立ちます。
- 認証: 外部 ID ストアの LDAP、Kerberos 認証、または Kerberos 委任認証が必要な場合。
- データ管理: Tableau Prep フローは Tableau Bridge ではサポートされていません。プライベートネットワークの背後にあるデータに対して Tableau Prep フローを使用した自動データ更新が必要な場合は、「[Tableau Cloud でオンプレミスデータを使用して Tableau Prep Conductor のフローを実行する方法](#)」を参照してください。Python を使用する Tableau Prep フローも、Tableau Bridge ではサポートされていません。

本ガイドの対象読者

このガイドは、Tableau Cloud への移行を実行する個人またはチームを対象としています。このガイドは、100 ユーザー以下の Tableau Server インストール用に設計されています。このガイドでは、組織を Tableau Server からフル機能の Tableau Cloud のサイトに 1 ~ 2 週間で移行するための段階的な手動プロセスについて説明します。

Tableau Cloud に移行して主要な管理機能 (ID/ユーザー、サイト設定、認証、データ接続など) を作成したら、コンテンツの移行の大部分は組織の作成者と分担できます。「作成者」とは、Creator ロールベースのライセンスを持つユーザーです。目的に応じて、あなた (管理者) または作成者がコンテンツを移行できます。そのために、作成者に紹介できる移行関連のコンテンツを用意しました。コンテンツを移行するユーザーは、Creators ライセンスと [Tableau Desktop](#) へのアクセス権を持っている必要があります。作成者が Tableau Prep のフローを移行する場合は、Tableau Prep Builder もインストールする必要があります。

移行後

このガイドでは、Tableau Cloud プラットフォームをできる限りカバーするよう最善を尽くしますが、管理者がエンドユーザーに代わって設定できない機能がいくつかあります。移行を完了した後、ユーザーはコンテンツを更新する必要があります。クラウドネイティブの機能を使用する利点を活かして、Tableau Cloud で新たに再作成した方がよい機能もいくつかあります。

Tableau Cloud の機能の違い

前述したように、管理者の視点から見ると、Tableau Cloud の実行は、独自の Tableau Server を管理するよりもはるかに労力がかかりません。機能の違いをまとめたリストについては、Tableau Server ヘルプ トピック「[Tableau Server から Tableau Cloud への移行に関する技術的考慮事項 \(Windows | Linux\)](#)」を参照してください。以下に、最も一般的な項目をいくつか示します。

- Tableau Cloud では、管理者は **Tableau Server** リポジトリ([Windows | Linux](#)) に直接アクセスできません。代わりに、**管理者 インサイト**を使用すると、現在のライセンスの状態やパフォーマンスなど、Tableau 環境で何が起きているかを把握できます。
- ゲストでのアクセスは Tableau Cloud では使用できません。代わりに、**接続済みアプリケーション**を使用してアクセスを拡大します。
- カスタム フォントはコンテンツで使用できません。
- Tableau Cloud は単一サイトモデルを使用して管理を簡素化します。複数の Tableau Server サイトがある場合、コンテンツを1つのサイトに統合する必要があるかもしれません。

「[Tableau Cloud への移行に関する技術準備評価](#)」を実施して、Tableau Cloud に移行する前に対応が必要なユースケースがあるかどうかを確認します。

エンドユーザーが実施する必要があるタスク

管理者がエンドユーザーに代わって設定できない機能や、手動での再構成が必要な機能がいくつかあります。ユーザーに直接共有できるように、完全な一覧を「[エンドユーザーの移行チェックリスト](#)」として別途用意しましたが、これらのタスクには次のものが含まれます。

- Webhook
- ソリューションの更新の埋め込み
- REST API スクリプトの更新
- 分析拡張機能の設定

バージョンの互換性

原則として、当社のドキュメントは Tableau Server の最近または現在のバージョンに基づいていますが、このガイドで説明されているプロセスはプログラムのまたは自動化された移行ではないため、古いバージョンの Tableau Server から Tableau Cloud に移行する場合の問題は想定していません。厳密に言えば、このガイドのプロセスは、管理上の設定に関しては「移行」というより「移植」に近いものです。

ライセンス発行

Tableau Cloud は、ロールベースのサブスクリプション ライセンスを使用します。Tableau Server は、ロールベースのサブスクリプション ライセンスと従来の価格モデルをサポートしています。別の (以前の) ライセンス モデルを使用している場合は、Tableau アカウントチームに連絡して、ライセンスをロールベースのサブスクリプションに変換してください。

追加サポート

この資料を読んだ後、自分で手動で移行するのではなく、専門家に任せたいと思うかもしれません。その場合は、[経験豊富な移行パートナー](#)に連絡して、Tableau Cloud への移行をどのように推進できるかご確認 ください。

移行ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. 移行計画
2. Tableau Cloud サイトの作成と設定
3. 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行
5. Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツ アクセスの設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. エンドユーザーの移行 チェックリスト

移行計画

これは、[Tableau Cloud 手動移行ガイド](#)です。このガイドでは、ユーザーが 100 人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

このトピックでは、移行前に実施すべき 2 つの重要な計画タスク(データ接続戦略と認証メカニズムの確立)について説明します。機能の違いをまとめたリストについては、[Tableau Server ヘルプ トピック「Tableau Server から Tableau Cloud への移行に関する技術的考慮事項 \(Windows | Linux\)」](#)を参照してください。[「Tableau Cloud への移行に関する技術準備評価」](#)を実施して、Tableau Cloud に移行する前に対応が必要なユースケースがあるかどうかを確認します。

Tableau Cloud について

Tableau Cloud を初めて利用する場合は、オンラインの[セルフガイド コース](#)にサインアップして、プラットフォームについての詳細を学習することをお勧めします。これらのコースは、Tableau Cloud の入門編として役立ち、移行を計画する際に必要なコンテキストを提供します。

現在、Tableau Server の管理に慣れている場合は、Tableau Cloud でも多くのタスクがほぼ同じであることがわかるでしょう。ただし、Tableau Cloud への移行に伴い、ソフトウェアの展開と管理に関連するタスクは、マネージドサービスとして Tableau が担当します。アップグレードは私たちにお任せください。詳細については、ブログ記事「[分析を Tableau Cloud に移行するべきか?](#)」を参照してください。Tableau Cloud を使用すれば、スムーズなデータ接続やユーザーへのベストプラクティスの提供、分析コミュニティの育成に、よりいっそう力を入れて取り組むことができます。Tableau Cloud サイトの管理に関する詳細、および管理者として開始するための一連のリソースについては、[「Tableau Cloud サイト管理」](#)のページを参照してください。

Tableau Cloud のためのデータ戦略計画

Tableau Cloud は多数のデータソースに接続できますが、移行を開始する前にデータ接続計画を作成することが不可欠です。このセクションでは、それを行うための最良の方法を順を追って説明

し、Tableau Cloud がデータに接続する2つの方法について説明します。

この時点での目標は、Tableau Cloud へ移行しても、現在のデータ要件をサポートできるかどうかを検証することです。

大掃除: お持ちのコンテンツは有益なものですか?

さまざまなデータタイプを評価したり、データソース、ワークブック、プロジェクトのすべてを Tableau Cloud に移行する方法を評価したりする前に、この移行を大掃除のチャンスとして活用することをお勧めします。Tableau Server を1年または2年以上稼働しているほとんどの組織では、ワークブック、データソース、プロジェクト、フローなどの古いコンテンツがある程度たまっています。移行する前に、次の手順を実行することをお勧めします。

- Tableau Server の古いコンテンツの管理ビュー ([Windows](#) | [Linux](#)) で、使用されなくなったコンテンツを特定できます。通常、アーカイブされた古いコンテンツを Tableau Cloud に移動することに意味はありません。手放しましょう。
- Tableau Server をしばらく運用していると、ほとんどの組織では、コンテンツ階層とパーミッション構造はおそらく有機的に「進化」し、少し乱雑になっているでしょう。移行を計画するときは、Tableau Cloud サイトでプロジェクト、グループ、パーミッションの構造を新しく最適化する戦略を立ててください。
- Tableau Data Management のお客様であれば、ツールを使用して、移行の保留中にデータのクリーニング、結合、処理を管理できます。

リストを作成し、データソース戦略を作成する

既存のコンテンツをクリーンアップしたら、データソースのインベントリを作成します。この作業の目標は、組織内のユーザーが現在使用しているデータソースをどのようにサポートするかを決定することです。

各データソースについて、以下を実行します。

- 次のセクションで、Tableau Cloud コネクタの表と照合します。サポートされている場合は、直接進める道があります。表にない場合は、以下を実行します。
- 「[ブリッジを使用した接続](#)」を確認して、データ型が Tableau Bridge でサポートされているかどうかを判断します。
- データソースが静的ファイルの場合、Tableau Cloud はブラウザーまたは Tableau Desktop からの Excel またはテキストベースのデータソース (.xlsx、.csv、.tsv) の直接アップロードを

Tableau Cloud 手動移行ガイド

サポートしています。アップロードできるファイルの最大サイズは 1 GB です。多くの場合、ユーザーは一般的な共有ディレクトリにあるこれらの種類のファイルに接続しています。その場合、これらのファイルを、たとえば Google ドライブ、Dropbox、OneDrive などのパブリッククラウドのスペースにアップロードできます。または、Bridge を使用できます。その後、管理者（またはユーザー）は、Tableau Cloud を設定して、ライブデータ接続でこれらのスペースに接続することができます。

- 「Tableau Cloud への移行に関する技術準備評価」を実施して、Tableau Cloud に移行する前に対応が必要なユースケースがあるかどうかを確認します。

サポート済み Tableau Cloud コネクタ

Tableau Cloud では、次のコネクタがサポートされています。

Alibaba AnalyticsDB for MySQL†	Dropbox*†	OData†
Alibaba Data Lake Analytics†	Esri コネクタ†	OneDrive*†
Amazon Athena†	Exasol†	Oracle†
Amazon Aurora for MySQL†	Google BigQuery*†	Pivotal Greenplum Database†
Amazon EMR Hadoop Hive†	Google Cloud SQL (MySQL 互換)†\$	PostgreSQL†
Amazon Redshift†	Google ドライブ†	Presto†
Apache Drill†	Hortonworks Hadoop Hive	Qubole Presto†
Azure Data Lake Storage Gen2†	Impala†	Salesforce†
Azure Synapse Analytics (SQL Server 互換)	Kyvos†	SAP HANA (仮想接続のみ)†
Box†	MariaDB†	SharePoint Lists†
Cloudera Hadoop†	Microsoft Azure SQL データベース†	SingleStore (旧 MemSQL)†
Databricks†	Microsoft Azure Synapse	
Datorama by Salesforce†		

Denodo‡	Analytics‡	Snowflake‡
Dremio by Dremio‡	Microsoft SQL Server‡	Spark SQL‡
	MongoDB BI Connector‡	Teradata**‡
	MySQL‡	Vertica‡

*Tableau Cloud で Google BigQuery、OneDrive、Dropbox 接続に OAuth 2.0 標準を使用する方法の詳細については、「[OAuth 接続](#)」を参照してください。

** Teradata Web 作成では、現在クエリバンディング機能はサポートされていません。詳細については、「[Teradata](#)」を参照してください。

‡データ管理をお持ちの場合は仮想接続をサポートします。詳細については、Tableau Cloud ヘルプの「[仮想接続とデータポリシーについて](#)」を参照してください。

§Tableau Cloud は、Google Cloud SQL を使用した SSL をサポートしていません。

ユーザーアカウントと認証

2 つ目の重要な計画ステップは、Tableau Cloud ユーザーに使用する認証メカニズムを特定することです。

Tableau Cloud の既定のユーザーアカウントは TableauID と呼ばれます。TableauID では、Tableau Cloud への安全なアクセスを確保するために多要素認証 (MFA) が必要です。Tableau Cloud ドキュメントの「[多要素認証と Tableau Cloud について](#)」を参照してください。

組織が ID プロバイダー (IdP) を使用して認証を有効にしている場合は、Tableau Cloud でその認証を使用することも可能です。Salesforce 認証と Google OpenID をネイティブでサポートしています。Azure、Okta、OneLogin、AD FS、PingOne、または標準の SAML 2.0 認証をサポートする任意の IdP に対して SAML を構成することもできます。

続行する前に、Tableau Cloud の[認証](#)オプションを確認して、計画を立てます。

Tableau Cloud 手動移行ガイド

組織が Azure AD、Okta、または OneLogin を使用して ID を管理している場合、Tableau Cloud でユーザーとグループを自動的にプロビジョニングすることもできます。「[外部 ID プロバイダーを介したユーザープロビジョニングおよびグループ同期の自動化](#)」を参照してください。

移行ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. **現在位置:** 移行を計画する
2. Tableau Cloud サイトの作成と設定
3. 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行
5. Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. エンドユーザーの移行チェックリスト

Tableau Cloud サイトの作成と設定

これは、**Tableau Cloud 手動移行ガイド**です。このガイドでは、ユーザーが100人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

このガイドで説明している移行プロセスは、アカウントマネージャーと協力して Tableau ライセンスをサーバーからクラウドに移行することから始まります。移行前に Tableau Cloud をテストしたい場合は、いつでも **Tableau Cloud** を試用できます。

ステップ 1: Tableau アカウント マネージャーと協力してライセンスを移行する

移行の最初のステップは、アカウントマネージャーと協力してライセンスをサーバーからクラウドに移行することです。これを実施すると、両方の製品に 60 日間アクセスできます。ユーザーが 100 人以下のお客様のほとんどは、この移行プロセスを 1 週間以内 to 実施するため、移行時に両方の製品にアクセスする十分な時間があるはずです。さらに時間が必要な場合は、アカウントマネージャーにご相談ください。

ステップ 2: 認証方法を指定する

デフォルトの認証方法は、ユーザー名とパスワード (TableauID) です。TableauID ユーザーが Tableau Cloud へ安全にアクセスするには、多要素認証が必要です。また、多くの業界標準のシングルサインオンオプションもサポートしています。詳細については、「**認証**」を参照して、組織に最も適した認証方法を判断してください。

ステップ 3: サイトに慣れる

サイト設定を確認し、組織のニーズに合わせて適切に設定されていることを確認します。

ステップ 4: データ接続の設定

Tableau Cloud がデータに接続する方法は、データが保存されている場所によって異なります。それぞれの方法には異なる準備が必要な場合があります、以下に説明します。適切なオプションがわからない場合は、アカウントマネージャーにご相談ください。

一般に利用できるクラウドデータ

一般に利用できるクラウドデータには、Google ドライブ、Dropbox、OneDrive、Snowflake などがあります。

接続がデータベースの場合、Tableau Cloud でクエリを実行できるように有効化する必要がある場合があります。接続を有効化するには、「[Tableau Cloud にパブリッシュされたクラウドデータへのアクセスの承認](#)」を参照してください。

Excel や .csv ファイルなどのフラットファイルの場合は、Google ドライブ、Dropbox、OneDrive などのクラウドストアにこれらのファイルを保存することをお勧めします。その後、Tableau Cloud からデータへの直接接続を有効にできます。それを選択できない場合は、ローカルに保存されたフラットファイルへの接続を維持するように Tableau Bridge を設定する必要があります。

オンプレミス、ローカル ファイル、プライベート クラウドデータ

ローカル ファイル、プライベートクラウドデータ、オンプレミス データは、たとえば、SQL Server、Oracle、ローカルの Excel ファイルなどです。

プライベートデータの要件がある場合は、Tableau Bridge をインストールして設定する必要があります。Tableau Bridge は、Tableau Cloud とファイアウォールの背後にあるデータとの間の安全な通信を提供します。データにアクセスできる別のコンピューターのファイアウォールの内側に Bridge をインストールします。「[Bridge クライアントについて](#)」を参照してください。

オプション: ローカル ファイル (Excel、CSV など) の場合、Tableau Bridge を使用する代わりに、Google ドライブ、Dropbox、Onebox などのクラウドストアに保存できます。

移行 ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. 移行計画
2. **現在地**: Tableau Cloud サイト00 を作成して設定する
3. 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行
5. Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. エンドユーザーの移行チェックリスト

仮想接続の移行

これは、**Tableau Cloud 手動移行ガイド**です。このガイドでは、ユーザーが 100 人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

組織が Tableau Server の仮想接続を利用している場合は、続ける前に仮想接続を移行する必要があります。Tableau Server で仮想接続を設定していない場合は、この手順をスキップしてください。

Tableau Server から Tableau Cloud への仮想接続の移行は手動で行います。Tableau Cloud サイトで仮想接続 (またはパブリッシュされたデータソースと仮想接続) を作成し直し、各ワークブックのデータソースを新しい仮想接続に置き換えてから、元のワークブックのデータソースから新たなデータソースに計算式をコピーして貼り付ける必要があります。

ステップ 1: Tableau Cloud で仮想接続を再作成してテストする

「**仮想接続の作成**」を参照してください。

ステップ 2: 仮想接続を使用して構築されたパブリッシュ済みのデータソースを再作成する

仮想接続を使用するパブリッシュされたデータソースをすべて作成し直す必要があります。

1. 「**仮想接続の使用**」の手順に従ってください。
2. Tableau Cloud で**パブリッシュされたデータソースを作成**し、Tableau Server の元のデータソースを正確にミラーリングします。次の詳細が一致する必要があります。
 - 元のデータソースのすべてのフィールドが新しいデータソースに存在する必要があります
 - フィールド名は大文字と小文字も一致する必要があります
 - メジャーとディメンションは元のフィールドから新しいフィールドにマッピングする必要があります
 - デフォルトのフィールド設定。「**フィールドの既定の設定の編集**」を参照してください。
3. データソースに Tableau Bridge が必要かどうかをメモします。

ステップ 3: ワークブックを更新して以前のデータソースを置き換える

Tableau Cloud に移行するワークブックごとに、Tableau Desktop から次の手順を実行します。

1. Tableau Server にサインインして、移行するワークブックに移動し、ワークブックをダウンロードします。
2. ワークブック内で **[ファイル]**、**[閉じる]** の順に選択します。Tableau Desktop は閉じないでください。
3. **[サーバー]**、**[http://example にサインイン]**、**[サインアウト]** の順に選択して、Tableau Server からサインアウトします。Tableau Server 接続中のサインアウトに関する警告が表示されます。**[OK]** をクリックします。
4. **[サーバー]**、**[サインイン]**、**[Tableau Cloud]** の順に選択して、Tableau Cloud にサインインします。
5. デスクトップのホーム画面から、ワークブックファイルを選択してもう一度開きます。

「アクションを完了できません」というエラーメッセージが2回表示されます。エラーメッセージを閉じます。ワークシートを開くと、「ワークシートを使用できません」というメッセージが表示されます。メインウィンドウから接続を編集しないでください。

6. パブリッシュされた新しいデータソースをすでに作成している場合は、ステップ8に進みます。それ以外の場合は、**[データ]**、**[新しいデータソース]** の順に選択してデータソースを更新します。
 - このワークブック用に作成した新しい仮想接続に移動し、**[接続]** をクリックします。
 - Tableau Server の元のワークブックを開いて、式をコピーします。更新された Tableau Cloud のワークブックに式を貼り付けます。
7. 以前のデータソースと完全に一致する新しいデータソースを作成します。フィールド名は正確に一致する必要があります。
8. データソースを置換します。**[データ]** タブで、作成したデータソースを右クリックし、**[データソースを置換]** をクリックします。**[データソースの置換]** で、**置換** セレクターで正しいソースを指定し、**[OK]** をクリックします。
9. 古いデータソースを右クリックして **[閉じる]** を選択します。

Tableau Cloud 手動移行ガイド

10. 次の手順でデータソースをパブリッシュします。
 - Tableau Cloud とは別に、**[パブリッシュ]**、**[データソース]**、**[データソース名]**の順に選択します。
 - ワークブックに埋め込み、**[パブリッシュ]**、**[ワークブック]**の順に選択します。

移行ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. 移行計画
2. Tableau Cloud サイトの作成と設定
3. **現在位置**: 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行
5. Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. エンドユーザーの移行チェックリスト

データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行

これは、**Tableau Cloud 手動移行ガイド**です。このガイドでは、ユーザーが 100 人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

手動で移行を実行する多くの組織では、ユーザー(または一部のユーザー)が自分で、使い慣れたコンテンツを新しい Tableau Cloud サイトに移行することが理にかなっているかもしれません。このトピックで説明しているコンテンツの移行手順は、Creator ロールを持つ組織内のユーザーが実行できます。

はじめる前に

コンテンツの移行に着手する前に、既存の Tableau Server 環境のたな卸しを完全に行い、クリーンアップを行うことをお勧めします。「大掃除: お持ちのコンテンツは有益なものですか?」を参照してください。

Tableau Server の作業は継続してください。 移行プロセス中、すべてのコンテンツとビジネスプロセスが Tableau Server システム内で動作し続けていることを確認してください。コンテンツと手順が Tableau Cloud に適切に移行されたことを確認および検証するまでは、Tableau Server 環境を廃止しないでください。

ステップ 1: 最小限のアクセスポリシーでサイトのプロジェクトを作成する

新しい Tableau Cloud サイトは、最小限のアクセスポリシーで設定することをお勧めします。ユーザーがプラットフォーム上のコンテンツへアクセスをできるようにするには、ユーザーを Tableau Cloud に追加する必要があります。

Tableau Cloud 手動移行ガイド

開始する前に、Tableau でパーミッションがどのように相互作用し継承するかについての復習コースとして、「[クイックスタート: パーミッション](#)」を確認することをお勧めします。Tableau Server の環境でこれらの概念に精通している場合は、開始して問題ありません。Tableau Cloud のパーミッションは、サーバーと同じロジックを使用します。

以下の手順に従って、最小限のアクセス ポリシーでプロジェクトを設定します。

1. さらに多くのプロジェクトを作成する前に、デフォルトプロジェクトで[テンプレートのパーミッション](#)を設定します。
2. すべてのユーザーグループのパーミッションを削除します。すべてのユーザーを削除すると、コンテンツにアクセスする必要があるユーザーに対して、プロジェクトが明示的なパーミッションで設定されます。
3. [グループを作成します](#)。グループを使用すると、組織やコンテンツの規模に応じてパーミッションの管理を簡素化できます。

プロジェクトのパーミッションに関する一般的なガイドについては、「[プロジェクトを使用したコンテンツへのアクセスの管理](#)」を参照してください。

ステップ 2: Creator ロールを持つユーザーを追加する

最小限のアクセス ポリシーを設定したら、コンテンツを移行するユーザーを追加します。コンテンツの移行をユーザーに依存していない場合は、プロセスの後半でユーザーを追加できます。「[移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツ アクセスの設定](#)」を参照してください。

Creator ユーザーを追加するには、次のガイドラインに従います。

- サイト ロールについては、「[ユーザーのサイト ロールの設定](#)」を参照してください。
- 「[ユーザーを手動で追加](#)」するか、「[ユーザーを CSV ファイルでインポート](#)」できます。
- ユーザーを追加して役割を設定したら、前の手順で設定した適切なグループに追加します。

ステップ 3: パブリッシュ済みデータソースを移行する

複数のワークブックで 1 つのパブリッシュされたデータソースを使用している場合、パブリッシュされたデータソースを 1 回だけ移行する必要があります。

1. Tableau Desktop で Tableau Server 環境にサインインし、移行するワークブックに移動して **【ダウンロード】** をクリックします。
2. Tableau Desktop の **【データ】** メニューでデータソースを選択し、**【ローカル コピーの作成】** を選択して、データソースのローカル コピーを保存します。
3. [シート] から作業し、**【データ】**、**【データソースの置き換え】** の順に選択します。以下のオプションを入力します。
 - 現在: 現在のローカル コピーの置き換え: 保存したローカル コピー
 - **【データ】** ペインで元のパブリッシュ済みデータソースを右クリックし、**【閉じる】** を選択します。
4. **【サーバー】** を選択し、**【サインアウト】** をクリックします。
5. **【データ】** メニューでデータソースを選択し、**【サーバーにパブリッシュ】** を選択します。
6. Tableau Desktop で Tableau Cloud にサインインし、データソースをパブリッシュします。
7. 必要に応じて、Tableau Cloud でそのデータソースの更新をスケジュールします。詳細については、「Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成」を参照してください。

新しくパブリッシュされたデータソースがワークブック内の唯一のデータソースである場合は、次の 2 つの手順に従ってワークブックもパブリッシュします。ワークブックにパブリッシュされたデータソースが複数ある場合は、スキップして次のステップに進みます。

1. データソースをパブリッシュするときに、**【ワークブックを更新して、パブリッシュされたデータソースを使用する】** が選択されていることを確認します。
2. **【サーバー】**、**【ワークブックのパブリッシュ】** の順に選択し、ワークブックを Tableau Cloud にパブリッシュします。

ステップ 4: 複数のパブリッシュ済みデータソースを含むワークブックを移行する

Tableau Cloud に移行するすべてのパブリッシュ済みデータソースに対して、次のプロセスを繰り返します。

1. Tableau Desktop で Tableau Server 環境にサインインし、移行するパブリッシュ済みデータソースに移動して、**【ダウンロード】** をクリックします。
2. Tableau Desktop でファイルが開きます。Tableau Desktop の **【データ】** メニューでデータソースを選択し、**【ローカル コピーの作成】** を選択して、データソースのローカル コピーを保存します。
3. **【データ】** ペインで元のパブリッシュ済みデータソースを右クリックし、**【閉じる】** を選択します。
4. ワークブック内のすべてのパブリッシュ済みデータソースに対して、手順 2 ~ 3 を繰り返します。
5. **【サーバー】** を選択し、**【サインアウト】** をクリックします。
6. **【シート】** から作業し、**【データ】**、**【データソースの置き換え】** の順に選択します。以下のオプションを入力します。
 - 現在: 現在のローカル コピー
 - 置換: 保存したローカル コピー
7. すべてのパブリッシュ済みデータソースを置き換えたら、**【選択】**、**【ワークブックのパブリッシュ】** の順に選択して、ワークブックを Tableau Cloud にパブリッシュします。

ワークブックに Tableau Bridge を必要とする埋め込みデータソースもある場合、それらのデータソースは移行中とは別にパブリッシュする必要があります。「[データソースのパブリッシュ](#)」を参照してください。

ステップ 5: 埋め込みデータソースを含むワークブックを移行する

1. Tableau Desktop で Tableau Server 環境にサインインし、移行するワークブックに移動して **[ダウンロード]** をクリックします。
2. **[サーバー]** を選択し、**[サインアウト]** をクリックします。
3. **[サーバー]** を選択し、**[サインイン]** をクリックして Tableau Cloud にサインインします。
4. 埋め込みデータソースが自動更新に Tableau Bridge を必要としていて、ファイル データ (.csv や .xlsx など) である場合は、「**オンプレミス データのパブリッシュ (Tableau Cloud のみ)**」の手順に従ってください。
5. データソースが Tableau Bridge を必要としない場合、またはファイル データではない場合は、**[サーバー]** > **[ワークブックのパブリッシュ]** を選択します。

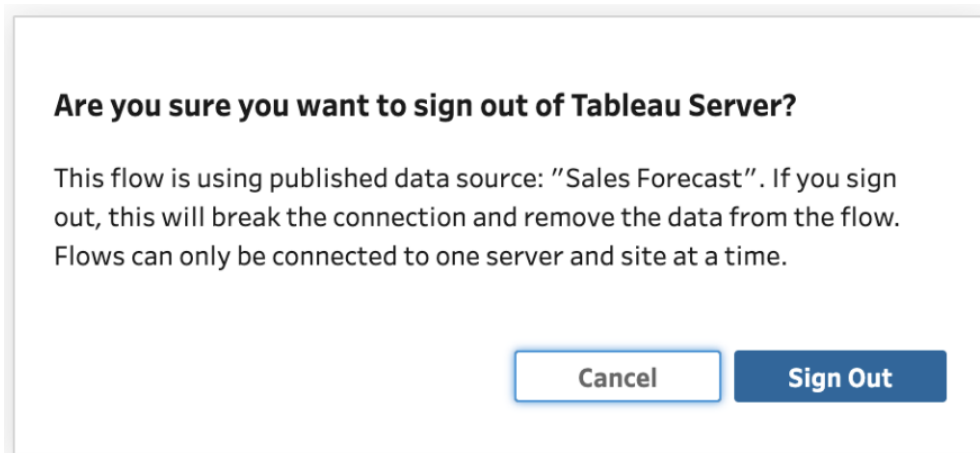
ステップ 6: Tableau Prep フローの移行

一般に公開されているクラウドデータについては、Tableau Cloud でクエリを実行できるように有効化する必要がある場合があります。接続を有効化するには、「**Tableau Cloud にパブリッシュされたクラウドデータへのアクセスの承認**」を参照してください。

Tableau Cloud に移行するすべての Tableau Prep フローに対して、次の手順を繰り返します。この手順は、**Tableau Prep Builder** を実行しているコンピューターで実行します。

1. Tableau Server 環境にサインインし、移行するフローに移動して **[ダウンロード]** をクリックします。
2. Tableau Prep Builder でフローが開きます。
 - a. フローが少なくとも 1 つのパブリッシュされたデータソースに接続すると、サーバーにサインインするよう自動的に求められます。自動的に求められない場合は、トップメニューから **[サーバー]**、**[サインイン]** の順に選択し、Tableau Server にサインインします。
 - b. トップメニューから移動し、**[サーバー]** を選択します。**[サーバー URL にサインイン済み]** で、**[サインアウト]** をクリックします。

- c. フローが少なくとも 1 つのパブリッシュされたデータソースに接続していると、次の警告が表示されます。



- d. **[サインアウト]** をクリックします。
3. トップメニューに移動し、**[サーバー]**、**[サインイン]**、**[Tableau Cloud へのクイック接続]** の順に選択して Tableau Cloud にサインインします。
4. パブリッシュされたデータソースがフローに含まれていない場合は、次のステップに進みます。
パブリッシュされたデータソースへの接続がフローに少なくとも 1 つある場合
 - a. **[接続]** ペインを開き、Tableau Cloud 上の新しいバージョンのパブリッシュされたデータソースに接続します。
 - b. 新しい接続をドラッグ アンド ドロップして、既存の Tableau Server のパブリッシュされたデータソースの入力ステップを置き換えます。
 - c. 接続の画面で既存の接続を右クリックし、Tableau Server のパブリッシュされたデータソースを削除します。
 - d. フロー内の他のすべてのパブリッシュされた接続データソースに対して手順を繰り返します。
5. パブリッシュされたデータソースにフローが出力している場合は、その出力ステップに移動し、Tableau Cloud 上の新しいパブリッシュされたデータソースを参照するように更新します。
 - フロー内の他のすべてのパブリッシュされた出力データソースに対して手順を繰り返します。
6. パブリッシュされたデータソースがすべて置き換えられたら、**[サーバー]**、**[フローのパブリッシュ]** の順に選択するか、右上隅の **[パブリッシュ]** ボタンをクリックしてフローを Tableau Cloud にパブリッシュします。

移行 ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. 移行計画
2. Tableau Cloud サイトの作成と設定
3. 仮想接続の移行
4. **現在地**: データソース、ワークブック、フローを Tableau Cloud に移行する
5. Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. エンドユーザーの移行チェックリスト

Tableau Cloud の更新 スケジュールの 再作成

これは、[Tableau Cloud 手動移行ガイド](#)です。このガイドでは、ユーザーが 100 人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

抽出 データ ソースの新しい更新 スケジュールを確立する

- 抽出 データ ソースの場合、Tableau Cloud でパブリッシュ済みデータソースまたは埋め込みデータソースに移動します。[\[抽出更新\]](#)、[\[新しい抽出更新\]](#)、[\[抽出スケジュールの選択\]](#)の順に選択します。

Tableau Bridge を必要とするデータソースの場合、抽出更新を確立する前に、Bridge が接続用に設定されていることを確認します。「[プライベートクラウドデータに Bridge を使用する](#)」を参照してください。

Tableau Prep フローの新しい更新 スケジュールの設定

スケジュール フローは、データ管理のお客様のみが利用できます。

- Tableau Prep フローの新しい更新 スケジュールを設定するには、Tableau Cloud のフローに移動します。[\[スケジュールされたタスク\]](#)、[\[新しいタスク\]](#)の順に選択し、スケジュールを選択して設定します。リンクされたタスクに対しても同じことを行います。詳細については、「[フロータスクのスケジュール設定](#)」を参照してください。

Tableau Cloud では、フローのカスタム スケジュールはサポートされていません。

移行 ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. 移行計画
2. Tableau Cloud サイトの作成と設定
3. 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行
5. **現在地:** Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. エンドユーザーの移行 チェックリスト

移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定

これは、[Tableau Cloud 手動移行ガイド](#)です。このガイドでは、ユーザーが 100 人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

データソース、ワークブック、Prep フローを Tableau Cloud に追加したので、ユーザーを追加する準備ができました。そのためには、誰がどのデータにアクセスできるかを Tableau がどのように判定しているか理解することが重要です。Tableau Cloud を使用すると、コンテンツにアクセスできるユーザーを指定したり、データソース内のデータへのアクセスを制限したりできます。

コンテンツアイテムにアクセスできるユーザーは、コンテンツアクセス ツールを使用して制限します。ユーザーがデータソース内で表示できるデータは、行レベルセキュリティツールを使用して制限します。

コンテンツ アクセス

プロジェクト、ネストされたプロジェクト、個々のコンテンツアイテムはすべて、パーミッションルールの対象となります。これらのルールは、Tableau Server 環境でどのように使用されているかを確認することができ、Tableau Cloud で再作成できます。「[パーミッション](#)」を参照してください。

行レベルセキュリティ

行レベルのセキュリティを備えたデータソースまたはワークブックがある場合、行レベルセキュリティのパーミッションと計算を Tableau Cloud 用に更新する必要があります。これは、変換中にユーザー名とグループ名が変更される可能性があるためです。「[データ行レベルでのアクセスの制限](#)」および「[行レベルのセキュリティに使用するデータポリシーの作成](#)」を参照してください。

移行 ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. 移行計画
2. Tableau Cloud サイトの作成と設定
3. 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行
5. Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. **現在地**: 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツ アクセス権の設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. エンドユーザーの移行 チェックリスト

Tableau Cloud への残りのユーザーの追加

これは、[Tableau Cloud 手動移行ガイド](#)です。このガイドでは、ユーザーが 100 人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

すべてのコンテンツを移行し、プロジェクト、グループ、パーミッションを設定したので、残りの (またはすべての) ユーザーを追加できます。

ユーザーの追加

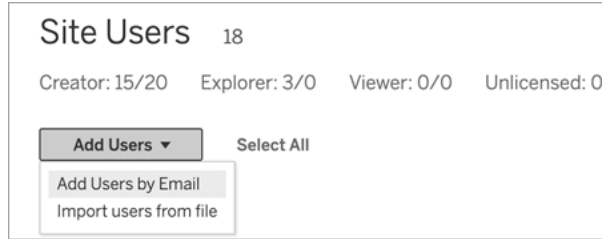
ユーザーを追加すると、すぐにコンテンツにアクセスできるようになります。ユーザーを追加する前に、「移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定」の手順に従ってください。

Tableau Cloud に移行する前に、ユーザーサイトロールについて学習することもお勧めします。「[ユーザーのサイトロールの設定](#)」を参照してください。

以下に示すように、ユーザーを手動で追加できます。多数のユーザーがいて、CSV ファイルを使用して一括インポートする場合は、「[ユーザーのインポート](#)」を参照してください。

ユーザーを手動で追加する

1. Tableau Server サイトにサインインし、**[ユーザー]** を選択します。
2. **[ユーザー]** ページで、**[ユーザーの追加]**、**[電子メール アドレスの入力]** の順にクリックします。



3. Google または SAML 認証がこのサイトで有効でない場合は、次の手順に進みます。

Google または SAML 認証がこのサイトで有効になっている場合は、新しいユーザーの認証タイプを選択できます。

- サイトの Google または SAML 認証を有効にしている、インポートされたユーザーに外部のアイデンティティプロバイダーを介してサイトにサインインさせる場合は、**[Google/SAML 認証向けにユーザーを追加]** を選択します。
- 既定の電子メールアドレスとパスワードによる認証をユーザーが行うようにするには、**[Tableau 認証用にユーザーを追加]** を選択します。

ユーザーの追加後、いつでも **[ユーザー]** ページに移動して認証タイプを変更できます。

注: tabcmd、Tableau Data Extractユーティリティ、Tableau API を経由して Tableau Server を使用する場合、ユーザーは TableauID アカウントで認証する必要があります。

4. **[メールアドレスの入力]** ボックスで、ユーザーのメールアドレスを入力します。複数のユーザーを追加する場合は、各アドレスをセミコロンで区切ります。

たとえば、「`tdavis@example.com; jjohnson@example.com; hwilson@example.com`」のように入力します。

5. ドロップダウンリストからサイトロールを選択して、追加するすべてのユーザーにサイトロールを割り当てます。

Tableau Cloud 手動移行ガイド

サイト ロールの定義については、「[ユーザーのサイト ロールの設定](#)」を参照してください。

6. **【ユーザーの追加】** をクリックします。

新しいユーザーの電子 メール アドレスが既に **tableau.com** のアカウントに関連付けられている場合、ユーザーはこのアカウント用の既存の電子 メール アドレスとパスワードを使用してサインインする必要があります。

新しいユーザーの電子 メール アドレスが既に **tableau.com** のアカウントに関連付けられていない場合、そのユーザーに姓と名前とパスワードを登録するプロンプトが表示されます。

ユーザーがそれらの値を提供するまで、**Tableau Server** のユーザー リストのエントリには、ピリオドが前についた電子 メール アドレスが表示されます。例:

.snguyen@example.com

ユーザーがサインインした後、エントリがフル ネームに更新 されます。例:

Susan Nguyen

移行 ワークフロー

このガイドは、**Tableau Cloud** に移行 するための段階的なプロセスに従って構成 されています。

1. 移行計画
2. **Tableau Cloud** サイトの作成 と設定
3. 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、**Prep** フローの **Tableau Cloud** への移行
5. **Tableau Cloud** の更新 スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツ アクセスの設定
7. **現在地:** **Tableau Cloud** へユーザーを追加する
8. エンドユーザーの移行 チェックリスト

エンドユーザーの移行 チェックリスト

これは、**Tableau Cloud 手動移行ガイド**です。このガイドでは、ユーザーが100人未満の Tableau Server 展開を、手動で Tableau Cloud に移行する方法について説明します。

Tableau Cloud へようこそ。

Tableau 管理者が最近、Tableau Server 環境を、Tableau のフルマネージド型分析プラットフォームである **Tableau Cloud** に移行しました。

移行作業の一環として、Tableau Cloud へのスムーズな移行を実現するために、以下の作業に数分の時間が必要です。以下の機能のいずれかを Tableau Server で使用していた場合は、それらを Tableau Cloud で再作成する必要があります。このリストで、再作成する必要がある機能を確認し、手順に従って再作成してください。

これらの事項を移行する間は、Tableau 管理者と協力して、Tableau Server と Tableau Cloud の両方にアクセスしてください。

- **URL アクション**: Tableau Server で発行した URL アクションは、Tableau Cloud の URL を指すように更新する必要があります。更新されたフィールド変数を使用することも可能です。「**URL アクション**」を参照してください。
- **サブスクリプション**: Tableau Cloud サイトでビュー、ワークブック、フローをサブスクライブし直す必要があります。「**ビューまたはワークブックへのサブスクリプションの作成**」を参照してください。
- **カスタム ビュー**: カスタム ビューは、選択内容とフィルターが適用されたビューのコピーです。Tableau Cloud サイトでカスタム ビューを適用し直す必要があります。「**カスタム ビューの使用**」を参照してください。
- **行レベルのセキュリティ**: ユーザー名とグループ名は移行中に変更される可能性があります。Tableau のデータポリシー、データソース、ワークブック内の行レベルのセキュリティソリューションでグループ名とユーザー名を使用していた場合は、移行後にそれらを更新する必要があります。
- **「データに聞く」レンズ**: Tableau Cloud で「データに聞く」レンズを設定し直す必要があります。「**特定の対象者に焦点を当てた「データに聞く」のレンズを作成する**」を参照してください。

Tableau Cloud 手動移行ガイド

- **お気に入り**: お気に入りを作成し直す必要があります。埋め込みデータソースを除き、任意のタイプのコンテンツをお気に入りに追加できます。「[お気に入りとしてマークする](#)」を参照してください。
- **コレクション**: コレクションは、Tableau Cloud でユーザーが作成し直す必要があります。
- **ユーザーアカウント設定**: メール設定とユーザーインターフェースオプションを更新します。「[アカウント設定の管理](#)」を参照してください。
- **データソースの保存された認証資格情報**: 保存した認証資格情報を含むすべてのデータソースとフローを更新する必要があります。「[データ接続のために保存された認証資格情報の管理](#)」を参照してください。
- **Webhook**: Tableau Cloud で Webhook を作成し直す必要があります。「[Tableau Webhook](#)」を参照してください。
- **埋め込みソリューション**: Tableau Server のビューが他のアプリケーションに埋め込まれている場合、それらのソリューションは Tableau Cloud 構成を使用するように更新する必要があります。これには、コンテンツアイテムの URL、web ページがアイテムと対話する方法、ビジュアルライゼーションに対する認証が含まれますが、これらに限定されません。
- **ダッシュボードの拡張機能**: ユースケースによっては、ダッシュボードの拡張機能を新しい Tableau Cloud 環境に適応させる必要がある場合があります。「[ダッシュボードの拡張機能](#)」を参照してください。Tableau 管理者は、[Cloud サイトでダッシュボード拡張機能のサポートを設定](#)する必要がある場合があります。
- **データ管理**: 組織にデータ管理機能がある場合 (以前購入したデータ管理を使用するか、Tableau Enterprise を購入する)、データ品質に関する警告とフィールドの説明を更新する必要があります。「[仮想接続とデータポリシーについて](#)」を参照してください。

移行ワークフロー

このガイドは、Tableau Cloud に移行するための段階的なプロセスに従って構成されています。

1. 移行計画
2. Tableau Cloud サイトの作成と設定
3. 仮想接続の移行
4. データソース、ワークブック、Prep フローの Tableau Cloud への移行
5. Tableau Cloud の更新スケジュールの再作成
6. 移行済みユーザーのパーミッションとコンテンツアクセスの設定
7. Tableau Cloud への残りのユーザーの追加
8. **現在位置**: ユーザー移行チェックリスト